

東郷幼

東郷幼稚園だより

日中はまだまだ残暑が厳しい日々が続いていますが、朝晩は、涼風が吹くようになりました。幼稚園で育てているバケツ田んぼやミニ田んぼも、無事にお米の花が咲き、実になり稲穂が少しずつ垂れ始めています。10 月になると、水を抜き、収穫の準備に入ります。実りの秋が楽しみです。園庭では、運動会に向けてグラウンドづくりが続いています。子供たちは、朝の支度を済ませ、自主的にかけっこをしています。水分補給をし、体調管理に留意しながら活動しています。

インターンシップ生とのふれあい！(純心大学生)9月9日～9月13日まで





5名の純大生が5日間、インターンシップに来ました。一緒に遊んだり活動のサポートをしたりする中で、子供とのかかわり方や言葉かけの仕方など指導法について学びました。子供たちも学生たちも初めは緊張気味でしたが、二日目以降、親しみをもって接したりふれあったりして楽しく活動していました。

【言葉による伝え合い】

敬老の日のプレゼント投函！！9月10日(火)

9月16日(月)の敬老の日に向けて、おじいちゃん・おばあちゃんにプレゼントをつくりました。年長児さんに東郷郵便局の局員の方に渡しに行ってもらいました。

年長さんは、みんなの作ったプレゼントの封筒を大切に持ち、「行ってきます。」と、元気に出かけていきました。

郵便局では、「よろしくお願いします。」と言い郵便局員さんにプレゼント入り封筒を渡すことができました。



【言葉による伝え合い】



【豊かな感性と表現】







火災避難訓練・・・9月13日(金)

今回は、避難訓練があることを伝えず、実施しましたが、泣き出す子供はなく、落ち着いて避難することができました。

消防士さんから、【お・か・し・も・ち・な】の合言葉を教えてもらいました。

その後、消火器の使い方や消防自動車の見学等を行いました。

最後に「いつもありがとうございます。」の感謝の言葉と一緒に【ありがとうメダル】を渡すことができました。

お…おさない
か…かけない (かけださない)
し…しゃべらない
も…もどらない
ち…ちかづかない
な…なかない

※避難訓練の合言葉を覚えて、
落ち着いて避難できるように
しましょう。





令和6年度 No.7
令和6年9月27日
薩摩川内市立東郷幼稚園
発行責任者：南之園八千代



実りの秋 黄金の稲穂にワクワク

行事予定と活動

日	曜	行 事	子供の活動	保護者に関わる行事
1	火	個人面談・安全点検	【好きな遊びを楽しむ】 ままごと、ごっこ遊び、 製作遊び、折り紙	個人面談
2	水	東郷学園教諭保育参観		
3	木	うめっこ		
4	金	キッドピクス・職員会議		
5	土			
6	日		小さい子と遊ぼう！	
7	月		【運動会の練習】：園庭 開・閉会式、かけっこ、ダンス、 規律訓練(年長)	
8	火	未就園児交流④		
9	水			
10	木	地震津波避難訓練		
11	金			
12	土		避難訓練をしよう。	
13	日			
14	月	<祝>スポーツの日		
15	火			
16	水	稲刈り	地域の方々と稲刈りをしよう。	稲刈り
17	木			
18	金	秋の一日遠足	親子ふれあいを 楽しもう	秋の一日遠足
19	土			
20	日			
21	月	運動会予行練習		
22	火	いもほり	いもほりを楽しもう！	いもほり
23	水	予行練習予備日		
24	木			
25	金	運動会会場づくり (12:50～14:30)		運動会会場づくり
26	土	わいわい運動会	運動会をみんなで楽しもう！	
27	日	運動会予備日		
28	月	振替休日		
29	火	4園交流(東郷幼)	運動会ごっこを楽しもう！	
30	水	ALTとの交流		
31	木	いもほり予備日		

11月の行事予定

1日(金) 地域が育む「かごしまの教育」
県民週間(～7日まで)、稲の脱穀
自由参観(～7日まで)

13日(水) 保健指導
(養護教諭)

1日(金) 令和7年度入園願書受付開始
受付11月1日～11月30日

15日(金) キッドピクス

5日(火) 祖父母参観

19日(火) 4園交流
(ひわき幼)

6日(水) 未就園児交流会⑤

22日(金) 収穫祭

7日(火) 個人面談

28日(木) ALTとの交流

8日(金) 園外保育

29日(金) おたのしみ会予行

12日(火) 誕生会(11月)





幼稚園のグリーン



アイビーとブルーサルビア



宿根サルビア
メランポジューム、オリヅラン、ミント

エピソード⑦ 思いを伝える
～養教の先生との会話より～

【言葉による伝えあい】

9月〇日給食後の休みの時間に、「入ってもいいですか？」と年少G子は職員室に養教の先生を訪ねてきました。「はい。どうぞ。」と、先生。「どうしたの？」と更にG子に聞くと、保育室で年中のD子とぶつかったことや痛かったから見て欲しいことを話してきました。養教の先生は、G子の話すことを静かに聞いてから、「痛かったんだね。」と優しく声をかけてくださっていました。「すこし、ひやしとこうかな。」と、言い、痛かった患部を冷やしました。「これで、様子をみようね。」先生は声をかけられました。そして、「泣かなかったんだね。強かったね。」と言葉を続けると、G子は、「あのね、D子ちゃんが、ごめんね。といってくれたんだよ。だから、いいよのきもちになったんだ。」と話していました。G子は、手当てをしてもらおうと、安心して、保育室に帰って行きました。

幼稚園生活で、子供たちは友達と様々なかわりをします。その中で、こんな時どうするのかな？の出来事に対して先生方からのアドバイスや支援を受けています。それらの経験があったからこそD子は、相手を許す気持ち、G子は、「ごめんね」をすぐに言うことができる気持ちなどの心の成長が育まれたのではと感じる出来事でした。



・・・幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」